

第36回こうとう地域チームケア研究会

口腔ケア研究会
口の中を見てみましょう

平成31年1月10日 研根歯科医師会

初めに

各職種の方々は日々患者様のケアにご尽力されておられることと存じます。

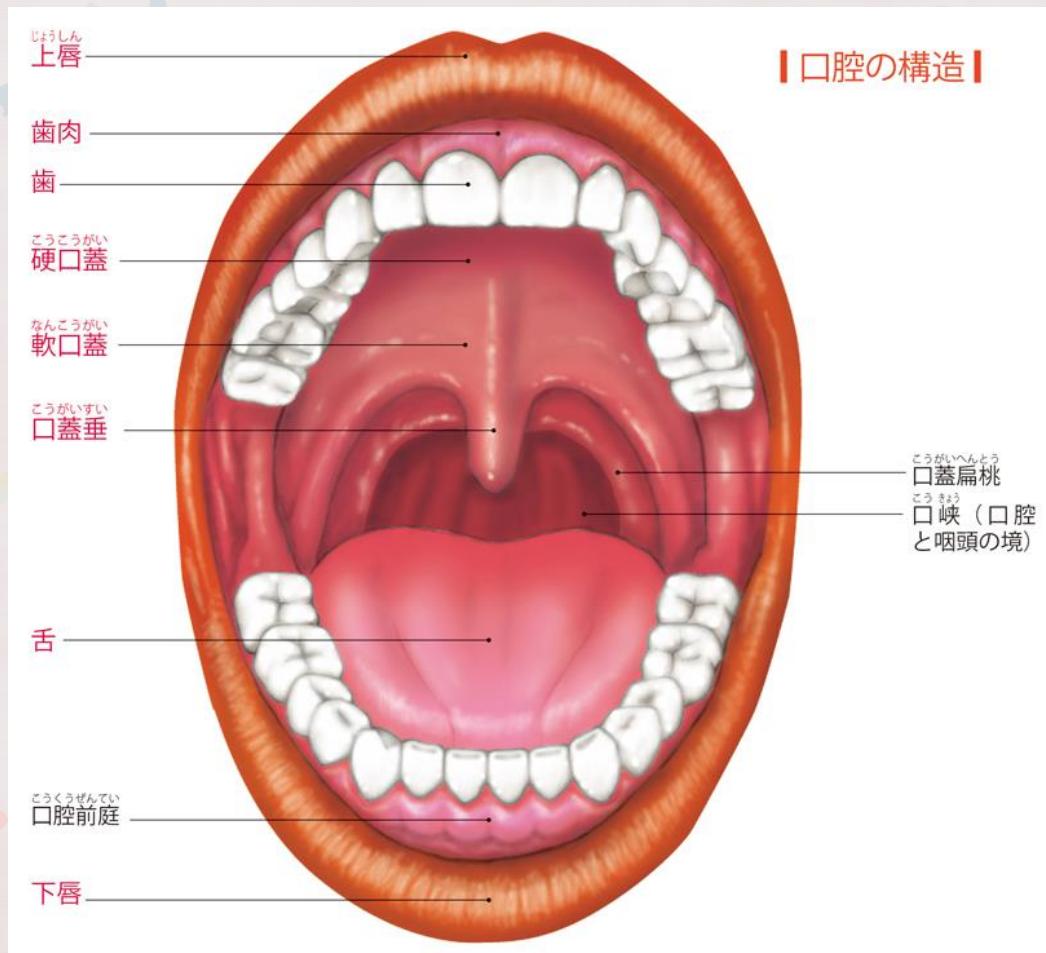
しかし、口腔内に関するところはよくわからない、というお言葉を度々いただきます。

今回の研究会では、口腔内の基礎知識、そして実際はどうなのか、ケアはどのようにするのか、を学んでいきたいと思います。

口腔は体内への入り口です。特に全身状態が悪く抵抗力の弱い老人にとって口腔ケアは必要です。

口腔内の状態を理解することでその方に口腔ケア、義歯等歯の治療が必要なのかどうか、を把握するところもでき、歯科訪問診療に繋がるきっかけになるかと考えます。

口の中をみてみよう





舌について

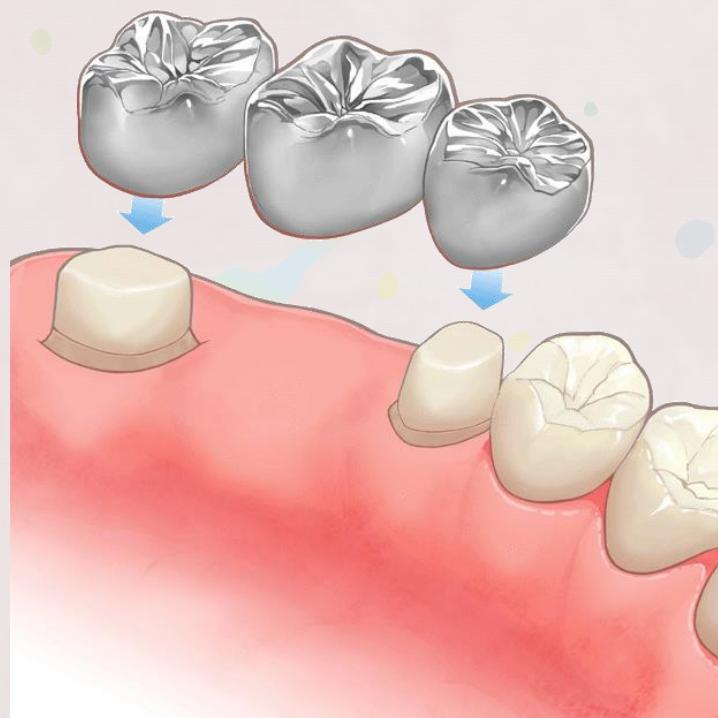




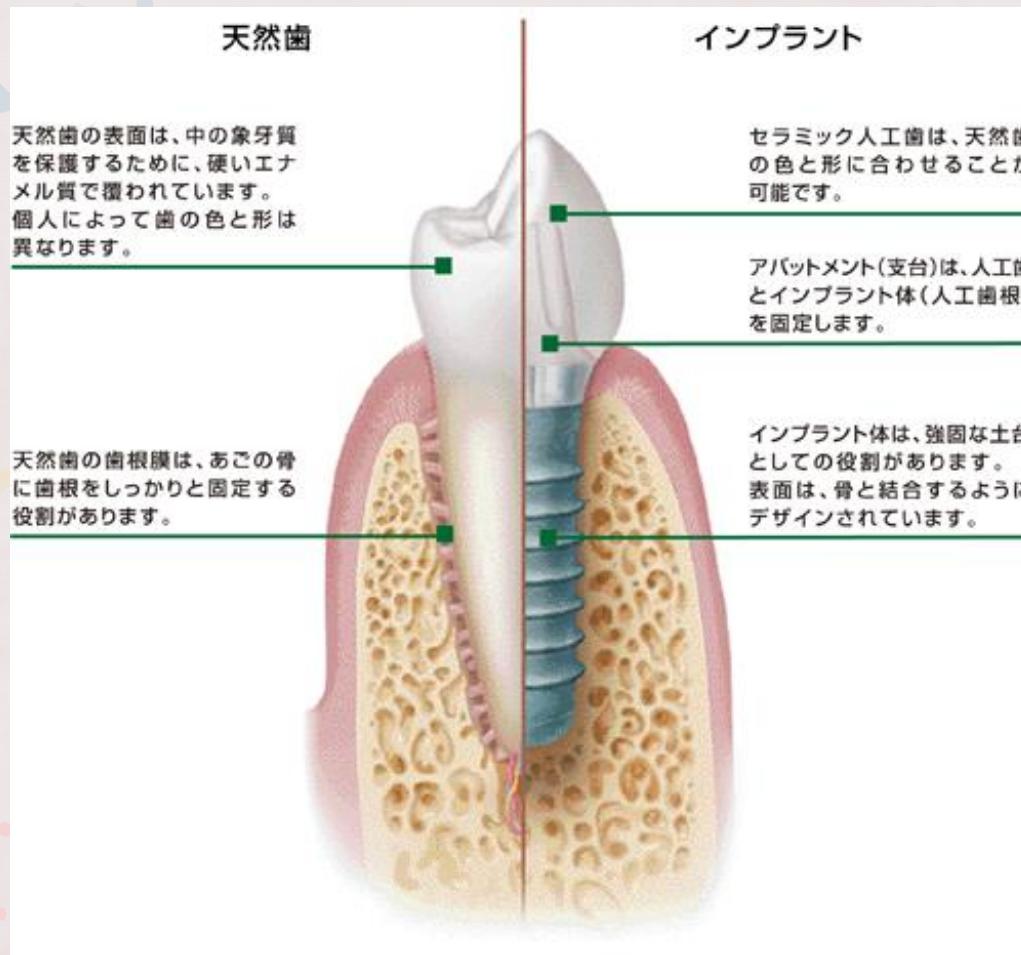
義歯とブリッジの違いについて
これが義歯（入れ歯）。取り外しするタイプ



これがブリッジ（土台の歯に背接着されている）



インプラントとは



訪問診療ができる治療について

彦根歯科医師会では訪問診療用のツールが2セット用意されています。

訪問することである程度の義歯の修理、歯の治療は可能ですが、その治療範囲はかなり限られます。ケースによっては応急処置的な感じになってしまふことがあります。

→可能な限りは通院できるような体制を取っていただけないとありがたく存じます。

実際のケース（来院されたケース）

患者：Fさん（歳）

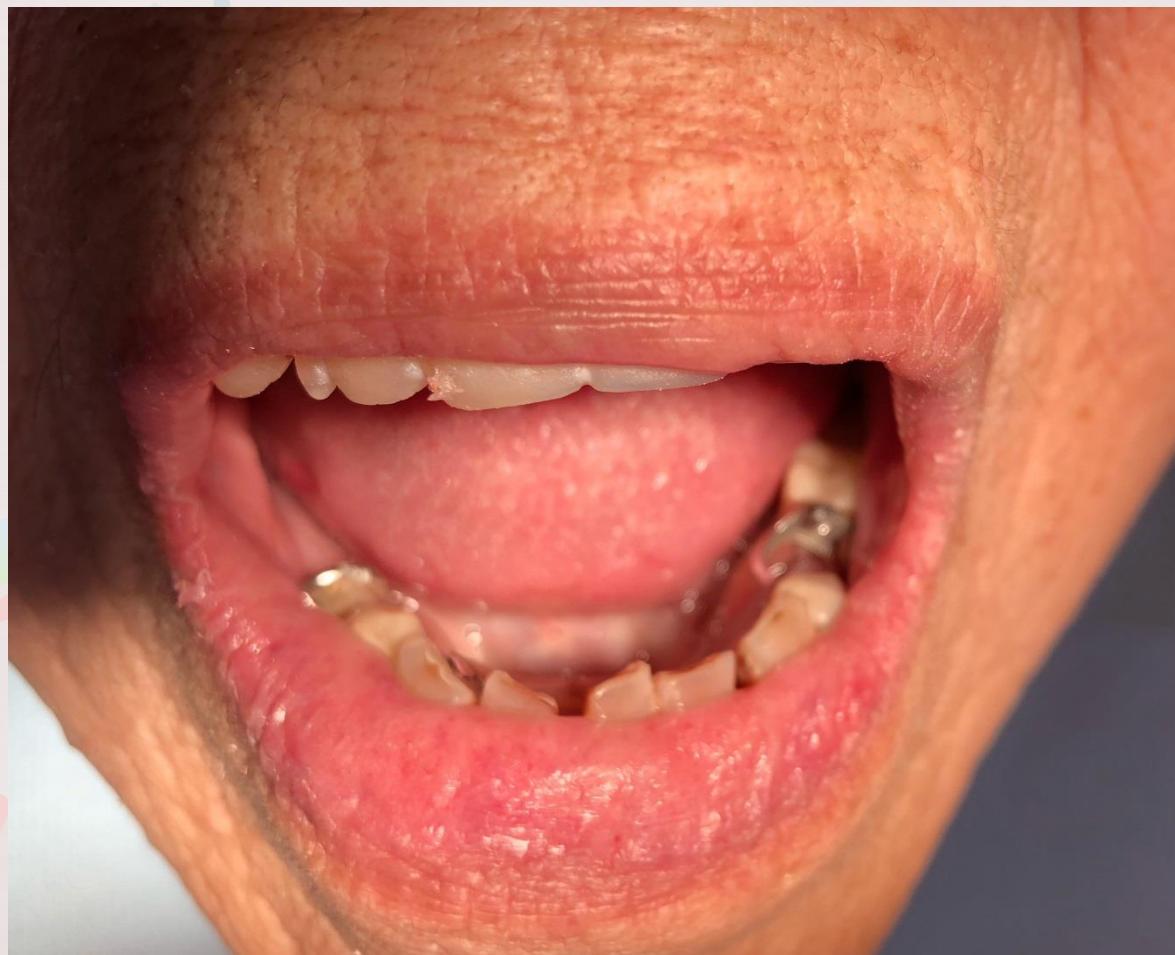
流れ：元々Fさんの娘（歳）が通院されており、母の義歯が調子悪いので診てほしいとのこと。

Fさん自身もかつては自力で来院されていましたが現在は一人であるくことができず、家の中では這って移動していることがある、とのこと。

来院時にはご家族3人が抱えてスロープを移動、また院内での診療台への移動は床を這って来られました。

Fさんは軽度の認知症もあるようですが治療 자체は可能。

口腔内の状態 1



一見すると問題ないよう見えますが義歯は・・・







治療計画 & 治療 1

状況からも複数回の来院は困難なので一日で終わらせる必要を感じました。

下落入る
とちれる
上とどめて
したける
がるむ出で
し開けた
ことをめ、
噛が出で
ことはのまい
この歯そし
と義したん
でし込んで
れが縮が強
い、強くした
んで食い込
れのう肉した
歯退状にた
れのう肉し
入れ肉ま歯で
の歯しがう
下もて歯よ

そたら歯が抜け、したくさんからくたます。つがまは入れたと思われた隙間を作ります。

とたにに付着くかく義歯が汚い。部は歯石化して全体に歯垢がべつました。

治療2

まずは掃除です。義歯の安定は得られなくとも少なくともこれだけで誤嚥性肺炎等感染症のリスクは抑えられます

上顎はともかく下顎は義歯装着後に沢山の歯が抜けてしまい、歯数が全くあていません。時間をかければ修正は可能ですが治療回数からとりあえず現状回復を目指すことにしました。

下顎の一部の欠損を補てんして上下とも内面のずれを修正しました。

治療後

義歯のずれが著しく、また驚くほど汚れ具合でしたが清掃を行い、何とか使用して差し支えない状態にできたかと思います。下顎は入れ歯の本数が足りませんがこれでも食事をとることができれば必ずしも必要はないと思われます。今後は使用状況をご家族から伺い、必要に応じて対応予定です

治療後の義歯



義歯の適合は改善しました



ご家族や周りの方のサポート

入れ歯の清掃、洗浄剤の使用。ブラシングなど患者さん一人では中々難しいので、周りの方がサポートして患者さんの健康を維持することが大切です